

## 公益社団法人日本山岳会 埼玉支部 2026 年度活動方針

埼玉支部はこれまで、山を愛する多くの先輩方の努力に支えられ、歩みを重ねてきました。とりわけ代々支部長が継続して掲げられた「新たな山仲間との出会いと思い出に残る登山」という理念は、今も私たちの心に残る大切な言葉です。また、日本山岳会が掲げる「みんなの日本山岳会」という理念は、多様な仲間が互いに支え合い、助け合いながら成長し、山の楽しさを社会へ広げていくという、本会の目指す姿を示すものであり、当支部の将来の方向性を考えるうえでの重要な指針となっています。来期はこれらの理念を大切にしながら、埼玉支部の新たな一步を踏み出したいと考えています。

山には多様な楽しみ方があります。アルプスやヒマラヤなど高峰への挑戦、ハイキングや縦走登山、クライミングや沢登り、雪山登山、スキーやバリエーション開拓。自然保護活動や安全登山の普及、セルフレスキューの研鑽。山岳文化や歴史を学び、次の世代へ伝えていく。技術講習やボランティア活動、一般向け講演会などの公益事業もまた大切な山の活動です。

これらの活動はすべて山を愛する気持ちから生まれています。会員の数だけ山の楽しみ、活動、挑戦があります。私たちは、互いの歩みを尊重し合い、それぞれの挑戦を応援できる支部でありたいと願っています。挑戦に大きさはありません。その人にとっての一步が、その人にとっての挑戦です。高みを目指す挑戦も、安全技術を磨く挑戦も、仲間を支える挑戦も、すべてが尊いものです。そして、互いを尊敬し合うためにも、学び続ける姿勢を大切にしていきます。

山行委員会、安全登山委員会は山行や講習、セルフレスキューなどを通じて、支部全体の実力の底上げを図り、安全に山を楽しめる環境を整えていきます。ボランティア委員会では山を守り、次世代へ自然や文化、歴史を伝えます。広報委員会は支部が歩んだ足跡を記録として残します。事務局、総務委員会は支部の活動が円滑に進むように組織を支えます。どの委員会も山岳会としての重要な役割を果たしています。

山仲間と出会い、互いに支え合いながら挑戦と学びを重ね、心に残る登山を重ねていく。その経験と思い出を次世代、そして社会へ繋いでいく。そのような埼玉支部を、皆さまと共につくっていきましょう。